

令和6年度 評価基準

学校名：江戸川区立松江第六中学校

教科	国語	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一 わたしはふしぎでたまらない ふしぎ	1	○詩の魅力や面白さについて考える。	○語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。	○すすんで文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを確かなものにし、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。
桜蝶	4	○文学作品の構成や展開を描写をもとに理解する。	○語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	○学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
【話す聞く】 お気に入りの一品を紹介する	2	○伝えたいことを明確にして、お気に入りの一品を紹介する。	○語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	○すすんで日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理して伝える内容を検討し、学習課題にそって伝えたいことを話そうとしたり、それを聞いて感想を述べたりしようとしている。
文法の小窓1 言葉の単位 文法(解説)1 言葉の単位	2	○文章・段落・文・文節・単語という言葉の単位について理解する。	○単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。		○積極的に言葉の単位について理解するとともに、その役割を考えようとしている。

令和6年度 評価基準

学校名: 江戸川区立松江第六中学校

<p>二 これは脳がもともと持っている癖です</p> <p>自分の脳を知っていますか</p>	5	<p>○文章の中心的部分に着目し、内容を捉える。</p> <p>○文章の構成を捉え、要約に生かす。</p> <p>○「脳の奇妙な癖」を理解し、筆者の考えをまとめる。</p>	<p>○情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>○「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。</p> <p>○「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約している。</p>	<p>○積極的に必要な情報に着目して要旨を捉えたとともに、文章にまとめようとしている。</p>
<p>【書く】</p> <p>資料から得た根拠をもとに意見を書く</p>	6	<p>○資料を比較して共通点と相違点を見つける。</p> <p>○考えの中心を明確にして、段落構成を考える。</p>	<p>○比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。</p>	<p>○引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、図表などを引用して考えたことを書こうとしている。</p>
<p>漢字の広場1</p> <p>漢字の部首</p>	1	<p>○漢字の部首についての理解を深める。</p>	<p>○学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p>		<p>○積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。</p>
<p>楷書で書こう</p>	4	<p>○日常生活で最も多く使われている楷書を、字形を整えて書くことができる。</p>	<p>○基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を理解している。</p> <p>○字形の整え方、筆順の原則を理解して、正しい筆順で書いている。</p>	<p>○楷書の基本点画の筆使いや組み立て方や、字形の整え方、筆順の原則の重要性を確認している。</p>	<p>○基本点画を理解している。</p> <p>○字形の整え方、筆順の原則を知ろうとしている。</p>
<p>言葉の小窓1</p> <p>日本語の音声</p> <p>言葉(解説)1</p> <p>日本語の音声</p>	2	<p>○日本語の音の特徴を理解する。</p>	<p>○音声のはたらきや仕組みについて、理解を深めている。</p>		<p>○積極的に音声のはたらきや仕組みを理解し、日本語の音の特徴について理解を深めようとしている。</p>

令和6年度 評価基準

学校名: 江戸川区立松江第六中学校

<p>【話す聞く】 内容を整理して説明する</p>	<p>4</p>	<p>○聞き手がわかりやすいように、話す内容を整理して表現する。</p>	<p>○情報と情報との関係について理解している。 ○情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ○「話すこと・聞くこと」において、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。</p>	<p>○相手の反応を踏まえながら表現を工夫し、伝えたいことを話そうとしている。</p>
<p>三 夜、僕はもう、ヘルガの夢ばかり見た ベンチ</p>	<p>4</p>	<p>○本や文章から必要な知識や情報を集めたり、それらを活用したりするための方法を身につける。</p>	<p>○語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 ○読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。</p>	<p>○「読むこと」において、目的に応じて要約したり、場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈している。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</p>	<p>○読書が考えを広げることに役立つことを理解し、考えたことを提案しようとしている。</p>
<p>すべては編集されている /写真で「事実」を表現する</p>	<p>2</p>	<p>○写真を見るとき viewpoint を知り、写真の特徴を理解する。 ○写真の特徴を生かし、多様な活用の仕方について考える。</p>	<p>○情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ○「読むこと」において、目的に応じて、内容を解釈している。</p>	<p>○情報の整理の仕方についての理解を深めて、創作しようとしている。</p>

令和6年度 評価基準

学校名：江戸川区立松江第六中学校

漢字の広場2 画数と活字の字体	1	○画数と活字の字体についての理解を深める。	○学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。		○積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
【書く】 材料を整理して案内文を書く	5	○集めた材料を分類・整理して、伝えたいことを明確にする。 ○目的や意図を意識して、案内文を書く。	○情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。	○「書くこと」において、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	○情報を整理し、案内文を書くとしている。
楷書と仮名を調和させて書こう	4	○平仮名の筆使いや字源を理解し、楷書に調和する仮名の筆使いに気をつけて、字形を整えて書くことができる。 ○楷書と仮名の調和を考えて書くことができる。	○平仮名の筆使いや筆脈、配列を理解している。 ○平仮名の筆使いや筆脈、配列を理解して書いている。 ○楷書に調和する仮名の筆使いを理解している。 ○楷書に調和する仮名の書き方を習得して書いている。	○紙面全体の調和、筆使いや筆脈、配列を考えている。 ○楷書に調和する仮名の筆使いについて考えている。	○平仮名の筆使いや筆脈、配列に関する自己の課題を把握し、その解決に向けて取り組んでいる。 ○楷書に調和する仮名の書き方を習得しようとしている。

令和6年度 評価基準

学校名：江戸川区立松江第六中学校

<p>四 森と川と海は一つなのだ</p> <p>持続可能な未来を創るために ——人の暮らし方を考える／ 「エシカル」に生きよう</p>	<p>3</p>	<p>○持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する。</p>	<p>○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>○情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」において、話し合い、互いの意見を結びつけて考えをまとめている。</p> <p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>○「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んで理解し、自分の考えを確かなものにしていく。</p>	<p>○自分の考えを確かなものにするとともに、今までの学習を生かして本や資料をもとに考えたことを書こうとしている。</p>
---	----------	------------------------------------	---	--	---

令和6年度 評価基準

学校名：江戸川区立松江第六中学校

<p>森には魔法つかいがいる</p>	<p>5</p>	<p>○必要な情報に着目して、調べたり考えたりしながら読む。 ○問いとその答えを見つけていく展開を捉えて読む。 ○筆者の考えや述べ方を踏まえ、根拠を明確にしながら自分の表現で筆者の考えをまとめる。</p>	<p>○語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 ○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>○「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。 ○「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。 ○「書くこと」において、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。</p>	<p>○文章の構成について考え、文章を読んで考えたことを書くようとしている。</p>
<p>文法の小窓2 文の成分</p> <p>文法(解説)2 文の成分</p>	<p>3</p>	<p>○主語・述語・修飾語など、文の成分の役割について理解する。</p>	<p>○文の成分の順序や照応など文の構成について理解を深めている。</p>		<p>○文の成分の順序や照応について理解し、文の構成について理解を深めようとしている。</p>
<p>【書く】 根拠を明確にして意見文を書く</p>	<p>5</p>	<p>○意見と根拠の関係を理解する。 ○根拠をはっきりさせて、意見文を書く。</p>	<p>○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ○情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</p>	<p>○根拠が明確な文章になるように工夫し、自分の考えたことを書くようとしている。</p>

令和6年度 評価基準

学校名：江戸川区立松江第六中学校

<p>広告の情報を考える</p>	<p>2</p>	<p>○広告を見るとき viewpoints を知り、広告の特徴について理解する。 ○目的に応じて言葉と画像を組み合わせ、広告を作る。</p>	<p>○情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ○「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して、内容を解釈している。</p>	<p>○関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、伝えるべき事を整理して書こうとしている。</p>
<p>五 今は昔、竹取の翁といふ者ありけり 昔話と古典</p>	<p>1</p>	<p>○古典にはさまざまな作品があることを知り、古典の仮名遣いにふれる。</p>	<p>○音読に必要な文語のきまりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。 ○古典には様々な種類の作品があることを知っている。</p>	<p>○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。</p>	<p>○音読に必要な文語のきまりを知り、考えたことを伝え合おうとしている。</p>
<p>物語の始まり</p>	<p>4</p>	<p>○古典の仮名遣いに注意して音読し、物語の内容を捉える。 ○『竹取物語』について調べたり、話し合ったりして、そのおもしろさを理解する。</p>	<p>○音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。</p>	<p>○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。</p>	<p>○古典の世界に親しむとともに、作品について考えたことを記録しようとしている。</p>
<p>故事成語</p>	<p>3</p>	<p>○いろいろな故事成語について調べたり、発表したりして、由来や意味を理解する。 ○漢文訓読のきまりを理解したり、音読したりして、文章の響きを味わう。</p>	<p>○音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、漢文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。</p>	<p>○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。</p>	<p>○音読に必要な訓読の仕方を知り、文章を読んで考えたことを伝え合おうとしている。</p>
<p>蜘蛛の糸</p>	<p>2</p>	<p>○わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。</p>	<p>○読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。</p>	<p>○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 ○「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。</p>	<p>○読書が考えを広げることに役立つことを理解し、小説を読んで考えたことを記録しようとしている。</p>

令和6年度 評価基準

学校名：江戸川区立松江第六中学校

<p>六 白象は寂しく笑ってそう言った 河童と蛙</p>	<p>1</p>	<p>○場面と描写を結びつけて読む。</p>	<p>○語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。</p>	<p>○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。</p>	<p>○表現の技法を理解するとともに、詩を読んで考えたことを伝えようとしている。</p>
<p>オツベルと象</p>	<p>7</p>	<p>○語句の意味や擬声語・擬態語に注意し、その工夫や効果を理解する。 ○場面と描写に着目して作品を読み、内容を解釈する。 ○作品の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考える。</p>	<p>○音声のはたらきや仕組みについて、理解を深めている。 ○語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。</p>	<p>○「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。</p>	<p>○表現の効果について根拠を明確して考えるとともに、小説を読んで考えたことを伝え合おうとしている。</p>
<p>【書く】 随筆を書く</p>	<p>4</p>	<p>○身近に起きたことや経験したことをまとめて、叙述の仕方を考える。</p>	<p>○語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>	<p>○「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。</p>	<p>○叙述の仕方などを確かめ、随筆を書こうとしている。</p>

令和6年度 評価基準

学校名:江戸川区立松江第六中学校

<p>行書で書いてみよう</p>	<p>9</p>	<p>○行書の特徴について、楷書と比較して理解することができる。 ○点画の変化や連続、省略を理解して書くことができる。 ○行書の学習の成果を日常生活に生かすことができる。</p>	<p>○楷書と行書の特徴の違いを理解している。 ○行書の特徴を知り、行書の筆使いについて理解し、確かめて書いている。 ○点画の連続と形の変化の筆使いを理解して書いている。 ○点や横画からの連続の筆使いを理解し、気をつけて書いている。 ○点画の連続と省略の仕方を理解して書いている。 ○これまでに学習してきた行書の特徴を理解して硬筆で書いている。</p>	<p>○楷書と行書の特徴の違いに気づいている。 ○行書の筆使いを確かめている。 ○点画の連続と形の変化を確かめている。 ○点や横画からの連続の筆使いを確かめている。 ○点画の連続と省略の筆使いを確かめている。</p>	<p>○楷書と行書の違いを知ろうとしている。 ○行書の特徴や筆使いなどを知らうとしている。 ○点画の連続と形の変化について、課題意識をもって取り組んでいる。 ○点や横画からの連続の筆使いについて、課題意識をもって取り組んでいる。 ○点画の連続と省略の筆使いについて、課題意識をもって取り組んでいる。</p>
<p>書き初めを書く</p>	<p>3</p>	<p>○文字の大きさや字間、行の中心などを理解して、配列よく書くことができる。 ○行書の特徴や配列を理解して書くことができる。</p>	<p>○楷書と仮名の筆使いや字形、文字の大きさなどを理解して書いている。 ○行書の特徴や配列、行の中心について理解して書いている。</p>	<p>○紙面に対する楷書と仮名の調和のさせ方を考えている。 ○行書の特徴や配列について考えている。</p>	<p>○自己の課題をもって取り組んでいる。</p>
<p>言葉の小窓2 日本語の文字 言葉(解説)2 日本語の文字</p>	<p>1</p>	<p>○日本語を書き表す文字の特徴を理解する。</p>	<p>○仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。 ○学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p>		<p>○積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。</p>

令和6年度 評価基準

学校名：江戸川区立松江第六中学校

<p>七 子どもは、一人の人間として、大人と同じように人権をもっています</p> <p>子どもの権利</p>	<p>4</p>	<p>○専門的な事柄などを表す語句の意味をおさえ、文章内容を捉える。 ○論理の構成や展開に着目して、筆者の主張を読む。 ○自分の経験と関連づけて読み、自分の考えをまとめる。</p>	<p>○語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。</p>	<p>○「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。 ○「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。</p>	<p>○自分の考えを確かなものにするとともに、考えたことを伝え合おうとしている。</p>
<p>【話す聞く】 調べた内容を聞く</p>	<p>3</p>	<p>○自分の考えと比較し、その共通点や相違点を踏まえて、考えをまとめる。 ○相手の話を聞いて記録したり、質問したりしながら内容を捉える。</p>	<p>○語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ○「話すこと・聞くこと」において、話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。</p>	<p>○共通点や相違点を踏まえて考えをまとめ、報告を聞いて質問しようとしている。</p>
<p>漢字の広場3 漢字の音と訓</p>	<p>1</p>	<p>○漢字の音と訓についての理解を深める。</p>	<p>○学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p>		<p>○積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。</p>

令和6年度 評価基準

学校名：江戸川区立松江第六中学校

<p>八 ここでもまた、技術を受け渡していくのは、言葉なのである</p> <p>言葉がつなぐ世界遺産/地域から世界へ</p>	5	<p>○問いと答え、事実と意見の関係を捉える。</p> <p>○事実と意見の関係、文章の構成や展開に注意して読み、筆者の考えを捉える。</p> <p>○筆者の考えについて、自分の考えをまとめ、理解を確かにする。</p>	<p>○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>○「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。</p> <p>○「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んで理解し、自分の考えを確かかなものにしていく。</p>	<p>○理解したことに基づいて考えを確かかなものにし、文章を読んで考えたことを記録しようとしている。</p>
<p>【書く】</p> <p>読み手を意識して報告文を整える</p>	4	<p>○要点を簡潔にまとめる。</p> <p>○読み手の立場に立って、文章を整える。</p>	<p>○語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>○「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。</p>	<p>○読み手の立場に立って叙述の仕方などを確かめるとともに、自分の考えを書こうとしている。</p>
<p>文法の小窓3</p> <p>単語のいろいろ</p> <p>文法(解説)3</p> <p>単語のいろいろ</p>	3	<p>○自立語と付属語、活用の有無などの、分類の基準について理解する。</p>	<p>○単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。</p>		<p>○単語の類別について理解を深め、言葉を分けて考えることの大切さを理解しようとしている。</p>
<p>【話す聞く】</p> <p>発言を結びつけて話し合う</p>	4	<p>○話題を意識して話し合い、発言を結びつける。</p> <p>○いろいろな意見を整理し、自分たちの感想や考えをまとめる。</p>	<p>○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。</p>	<p>○互いの発言を結びつけて考えをまとめ、それぞれの立場から考えを伝えようとしている。</p>

令和6年度 評価基準

学校名：江戸川区立松江第六中学校

<p>漫画で「物語」を表現する</p>	<p>2</p>	<p>○漫画の表現の特徴について理解する。 ○漫画の中の絵と言葉との関係を捉え、読み手に対する効果を考える。</p>	<p>○比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。</p>	<p>○「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈している。</p>	<p>○すすんで必要な情報に着目するとともに、学習課題にそって集めた情報を活用しようとしている。</p>
<p>漢字の広場4 熟語の構成</p>	<p>1</p>	<p>○熟語の構成の基本的な型を知る。</p>	<p>○学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ○事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>		<p>○積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。</p>
<p>九「そうか、そうか、つまり君はそんなやつなんだな」 四季の詩</p>	<p>2</p>	<p>○それぞれの詩の題材を捉え、描かれたイメージを想像する。</p>	<p>○比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。</p>	<p>○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 ○「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。</p>	<p>○すすんで描写をもとに捉えるとともに、今までの学習を生かして詩を創作しようとしている。</p>
<p>少年の日の思い出</p>	<p>7</p>	<p>○語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意する。 ○場面の展開や登場人物の心情の変化を、描写に基づきながら捉える。 ○語り手に着目して作品を読み、意見を交流するなどして、自分の考えを確かなものにする。</p>	<p>○事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>	<p>○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。</p>	<p>○粘り強く登場人物の心情の変化などについて捉えるとともに、学習の見通しをもって小説を読んで考えたことを記録しようとしている。</p>

令和6年度 評価基準

学校名：江戸川区立松江第六中学校

言葉の小窓3 方言と共通語	1	○方言と共通語の特徴について知る。	○共通語と方言の果たす役割について理解している。		○すすんで共通語と方言について調べ、学習の見通しをもって共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。
------------------	---	-------------------	--------------------------	--	---